

信長探訪倶楽部5月行事 姉川の戦い 横山城跡から姉川古戦場へ

金ヶ崎退き陣のあと、信長は捲土重来、早々に軍を立て直し、家康の応援を得て長政の小谷城に攻め寄せた。長政は、朝倉の援軍が来るまではと、小谷城に立てこもったため、信長は支城である横山城を攻めて、長政のおびき出しを誘った。そこへ朝倉景健の軍が到着したので、長政も城を出て大依山に布陣する朝倉軍と合流した。

ここに姉川を挟んで、織田・徳川軍対浅井・朝倉軍が対峙して「姉川の戦い」となった。

戦いの呼称は、当時は戦った土地の名をとって、浅井側は「野村合戦」、朝倉側は「三田村合戦」と呼んだそうだ。この戦いは織田、徳川軍優勢で終わり、信長は空城となった横山城に秀吉を城番として留め、3年後に朝倉、浅井を滅ぼすことになる。

今回は、世に「志賀の陣」として知られる信長が一番苦しい時、誰もなしえなかった「比叡山焼き討ち」をテーマに、延暦寺～坂本城を訪ねます。楠交流会館玄関に案内を出しますのでご覧ください。





横山城上り口となる日吉神社参道を行く3人
この先、1kmの登山道が待っているとも知らずに



横山城頂上に到着。秀吉が見ていたであろう景色が広がる。
右の高い山が小谷山、左の低い山が虎御前山である。

横山城天守台跡に立つ4人。後ろにそびえるのは伊吹山。
ここで歴男、歴女の二人に出会い、信長の戦いで盛り上がった。



横山城から姉川古戦場跡に移動。姉川の戦いの碑の前で説明版に見入る3人





姉川の戦いの戦死者を祭る碑の前で神妙な3人



姉川の戦い時の織田、徳川対浅井、朝倉軍の本陣跡を調べるため訪れた浅井歴史民俗資料館で満足げな4人



ここは朝倉軍の本陣跡と伝わる「三田村氏館跡」。三田村氏の子孫である俳優三田村邦彦氏はたびたびここを訪れている由。後ろに高さ3mほどの土塁が残っているのだが、見えなくて残念。